外国語で夢を見る

マシュ ー・ホワイト

チャも読みました。外国語で書かれた小説を読むという私の一つの夢が叶 ムをしたりしました。スペイン語で書かれたドンキホーテ・デ・ラマン くれました。英語の歌をスペイン語に翻訳したり、チームに分かれてゲー イン語の勉強を始めました。私のスペイン語の先生はいつも楽しく教えて いました。 私はアメリカのロサンゼルスの近くで育ちました。中学に入って、スペ

学ぶ事は、夢にまでも影響を与えることがあるのです。 語を学ぶことの影響力を意識するようになりました。眠っているときの無 験を想像することもできませんでした。しかし、その経験から、私は外国 ペイン語で話していました。朝起きて、家族にその夢について話したとこ 意識の状態のときですら影響があるということは驚きでした! ろ、両親はとても驚きました。両親は英語しか話せないので、私のこの経 その後、大学で新たに中国語を勉強しました。中国語を勉強している時 一番印象に残っているのは、ある夜見た夢のことです。夢の中で私はス 外国語を

月間中国の四川で中国語を習いましたが、ほとんど毎晩中国語で夢を見て は、中国語で夢を見るようになっていました。大学四年生の時、 るようです。 いました。外国語も、毎日のように使って ,ると、その言語で夢を見ることが多くな 私は五ケ

好きで、夢も日本語で見ます 最近は、イタリア語の勉強も始めまし 今私は日本に住んでいます。日本語が大

を見るのを楽しみにしています。 毎週末アメリカのテレビドラマ Friends を た。大学でのイタリア語のクラスの他に、 イタリア語で見ています。イタリア語で夢

あなたは何語で夢を見ますか? (ほわいと ましゅー)

ルソーのジャングル

武井由紀

初めて目にしたのはその教科書の中だったが、ゴーギャンやピカソ、アポ り込んでしまう。子供の画のような純粋で単調な印象を与える一方、注視 たのは、ずいぶん後だった。 リネールらが、生前から彼の作品を理解し、高く評価していたことを知っ から選んだのは美術だった。アンリー・ルソー Henri Rousseau の作品を すれば微妙な色合いで表現されている。高校時代に音楽、書道、美術の中 素朴な雰囲気だが、どこか神秘的で、いつの間にか表現された世界に入

時代に抱いた感情が懐かしくも鮮やかに蘇った。 ないが、とある芸術家との交流から二つの絵画がようやく繋がった。高校 いは、作者の母国であるフランス滞在中に遡る。本物を目にしたわけでは 亡くなる一九一〇年に完成したものが「夢 Le rêve」だ。この絵との出会 ジャングルをテーマにした作品群の中で最も大きなサイズで描き、彼が

基づいて描かれたかのようだが、密林のある国々へは足を踏み入れたこと がなかったはずだ。 してだと考えられている。彼が描くジャングルや個々の動植物は、経験に て許されたルーブル美術館での模写やパリの植物園や博物館での写生を通 かだ。ルソーは専門的な美術教育を受けることは一度もなかった。幼少期 ではない。特筆したいのは、彼が彼自身の夢を実現するために何を為した 椅子に横たわっているが、題目に掛けて本作について述べようというわけ たちはジャングルの中に溶け込んでいるように見える。左側には裸婦が長 に画家を目指してはいたが、結果的に彼が美術を体得したのは、資格を得 するジャングルの植物たちに見え隠れするように描かれ、そのためか動物 「夢 Le rêve」には、意外にも明るい色彩の動物たちが、緑や青を基調と

力が相俟って「夢」は描かれ、結実するということか。 数知れぬ観察=積み重ねられた努力、との解釈が許されるならば、想像

(たけい ゆき)

「杜子春伝」と芥川「杜子春」 の夢

船越達志

きっかけに変わった。女に転生する一節は全て削除された。日本人の芥川 る為の試練であったが、芥川版「杜子春」の夢は母親の有難さを認識する 行を主題とする道徳の教材に作り替えた。原話の杜子春の夢は、仙人にな ある。それが仙人の目指す境地である。日本の芥川龍之介は後者を、 たのだ。この二つの小説はいずれも、人間の感情からの脱却を説く小説で 悪欲)」を断ち切った者のみが仙人になれるが、杜子春は仙人になれなかっ れなかった」と、杜子春を責めた。人間の感情、 ず「ああ」と叫んでしまった。と、杜子春は目が覚めた。全てが夢であっ が砕けて血が飛び散った瞬間、 も答えない。すると、夫は突然怒りだし、子供の頭を石に叩きつけた。頭 男の子が生まれる。夫が子供を抱いて杜子春に語りかけるが、杜子春は何 かなかった。やがてある男が杜子春の美貌を伝え聞いて求婚し、二人には 黙を通し、ついには女に生まれ変わる。絶世の美女に成長するが、口をき 唐代には又「杜子春伝」という小説がある。杜子春は老人(仙人)から れる事もあったが、やがては自ら宰相となり、ついには燕国公となる。八 科挙に及第し官界に入り、とんとん拍子で出世する。宰相に疎まれ左遷さ が枕を使うと忽ち眠りにつく。盧生は自宅に戻り、名家の美女と結婚する。 鄲に宿泊した際、仙人呂翁に出会う。呂翁は盧生に枕を貸し与える。盧牛 には仙人が目指す境地は不可解なものに見えたのかもしれない。 た。老人は「お前は、喜怒哀懼悪欲を全て断ち切れたのに愛だけは断ち切 寝る前に宿屋の主人が蒸していた黍がまだ煮えていない程の、僅かな時間 十歳を超え、皇帝に惜しまれつつ逝去した。と、ここで盧生は目が覚めた。 しかたっていなかった。人生の儚さ、欲望からの脱却を促す小説である。 「何を見ても絶対口をきくな」と命じられる。杜子春はその言葉を守り沈 唐代に「枕中記」という小説がある。立身出世を夢見る若者盧生は、 杜子春の心に「愛」が生じた。そして思わ 即ち「七情(喜怒哀懼愛

だろう。

F ij ム・キャッチャー

室 淳子

る。夢の力を信じ、子どもを大切に思う気持ちから生み出されたものなの うに編まれた糸に悪い夢が絡み、良い夢だけが通り抜けてやって来てくれ 背負い板にくくりつけて、赤ん坊を悪夢から守る魔除けだ。蜘蛛の巣のよ ズのものもあるが、 カン・テイストなカフェやショップで見かけることがあるかもしれない。 に渡したこともあったが、本来の目的は少し異なる。赤ん坊をおんぶする 帯に暮らしていた先住民のオジブワ(チペワ)の人たちに伝わるものだ。 港では土産物として売っていたりもする。革製のものが多く、大きなサイ ことのある方にはおそらく馴染みのあるものだろうし、日本でも、アメリ 「夢をつかむもの」という意味合いから、私自身も卒業していく学生たち ドリーム・キャッチャーはもともとは、カナダからアメリカの森林地 ドリーム・キャッチャーは、今では北米中で目にすることができる。空 ドリーム・キャッチャーをご存じだろうか。アメリカやカナダを訪ねた キーホルダーくらいの小ぶりのものもある。

なあと今でも思う。 うには値が張りすぎていて手に入れることはできなかったが、欲しかった なっていた。日本に持ち帰るまでには壊れてしまいそうで、大学院生が買 が作ったドリーム・キャッチャーを見た。柳の木の枝で作られたドリー ム・キャッチャーは繊細で可愛らしく、大量生産された土産物とは一味異 アメリカ・ミネソタ州のミルラックを訪れたときに、オジブワの人たち

まったので一緒にスタッフの所に行くと、「シー・ハズ・グッド・フィン は下手くそだったが、器用な学生がいて、もらった糸が足りなくなってし 学生たちとドリーム・キャッチャーを手作り体験する機会も得た。私の 引率でカナダ・バンクーバーアイランドのダンカンを訪れたときには、 ズ」と褒められていた。ちょっと羨ましかった。

むろ じゅんこ

(ふなこし

さとし

学生諸君のために集めた【夢に関する名言】

小林洋哉

『夢を持つ、夢を持ち続けることが大切』:

がっても上がらなくてもと考えている人の頭からは、ハシゴは生まれない 酔っていれば、実現させる情熱が湧いてくる(稲盛和夫)」。「何としても ジェロウ)」。「夢なしではどこにも行けない(コフィー・アナン)」。「夢に だから大きな夢を持って。そして夢に向かって生きてみよう(マヤ・アン dreams. And then try to live your dream. (Maya Angelou) /人は夢の産物 (松下幸之助)」。 二階に上がりたい。この熱意がハシゴを思いつかせ階段を作りあげる。上 A person is the product of their dreams. So make sure to dream grea

『夢の実現のために以下の名言も参考に』:

四つのCに集約される。それは、Curiosity (好奇心)、Confidence (自信) ば、すべての夢は実現できる(W・ディズニー)」、「夢をかなえる秘訣は、 Courage(勇気)、そして、Constancy(継続)(W・ディズニー)」。 には自分でやってみること(w・ディズニー)」、「追い続ける勇気があれ 「未来を語る前に、今の現実を知らなければならない。現実からしかスター ⁻夢見ることができれば、実現できる(W・ディズニー)」、「夢を実現する |夢を追って失敗してもいい。何とかなるから(マヤ・アンジェロウ)]。 次に、

い。小さなことを積み重ねること(イチロー)」。「一歩一歩、一日一日を りたいことも我慢できる(本田圭佑)」。「夢をつかむことは一気にできな とは現実の世界に飛び込んで実行(A・カーネギー)」。「夢のために、 トできないから(P・ドラッカー)」。「夢を抱き、リハーサルしたら、 真剣、地道に積み重ねていく。夢を現実に変え、思いを成就させる のは、そういう非凡なる凡人なのです

(稲盛和夫)」。

懸命、

味わうことができるのだ(W・ディズ 役立つ』:「宝島の海賊たちが略奪した 財宝よりも、本には多くの宝が眠って いる。あなたはその宝の豊かさを毎日 最後に、『読書は夢の実現に大いに (こばやし ひろや

愛猫の見る夢は見てみたい

鶴本花織

「夢」に対していい印象を持ってはいない

り返し見ていたということはハッキリ憶えている。憶えていたくもないの いう夢は今となっては記憶に定かでない。その一方で、歯が抜ける夢を繰 ニンマリするような良い夢も幼少期にきっと見てはいただろうが、そう

を抱くべし」と論され、夢を見るという行為を否定的に捉えるようになっ 来する。)複数の教師から「無駄に夢想するのではなく、建設的な将来像 vision(老人は夢を見て、若者は未来を見る)」という教訓を教えられた。 カの教師たちの間で定着していた「old men have dreams, young men have (以上の教訓は新約聖書の「使徒の働き」の一節を誤って解釈したことに由 また、七歳から一五歳までアメリカの現地校に通っていた私は、アメリ

自分の夢の内容がそうとう暴力的であるということを自覚するようになっ ういうことをやっていると、夢を憶える能力が徐々に鍛えられ、そして、 だが、それでも真面目に目を覚ますと直ぐに夢の内容を記録した。連日そ た。夢は忘れたほうがいいから忘れるのだという結論に達した。 ル活動をする運びになった。実際はお酒を飲む口実にしか過ぎなかったの で、同級生たち同士で各々に夢を書き留め、それをネタに夢分析のサーク 大学院生になって、フロイト精神分析学をゼミナールで勉強していたの

世界を覗きたくなる。 まぶたや肉球をプルプルと震わせるし、よほどに感情移入している時は 夢を見ている姿を眺めるのは大好きである。猫は、夢を見ているときは 「ニャッ」とささやいたりする。そんな姿を目にすると、彼女が創る夢の こうして「夢」をすっかり嫌いになってしまった私であるが、愛猫が

クにとって、夢を見るという能力はその生命体に共感力が備わっているこ 羊の夢を見るか?』(一九六八)であるが、著者のフィリップ・K・ディッ とを示していた。私の猫が私のことを夢で見ているのか、気になる。 映画『ブレードランナー』(一九八二)の原作は『アンドロイドは電気

(つるもと かおり)

Vanter

Dreams in the Humanities

Dreams have been fertile fields for great works in the Arts. These lines from Coleridge were so inspired, "Kubla Khan, or a Vision in a Dream. A Fragment": "In Xanadu did Kubla Khan/A stately pleasure-dome decree:/Where Alph, the sacred river, ran/Through caverns measureless to man/ Down to a sunless sea." Perhaps dreaming was one way to gain access to the "sunless sea" hidden in the "caverns measureless to man." Certain it is that dreams have also inspired such works as Stevenson's The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde and Mary Shelley's Frankenstein, and they were the subject of Shakespeare's A Midsummer Night's Dream and of the music it has inspired. Even in the Sciences we find brilliant discoveries, such as that of the benzene ring, attributed to the influence of dreams. But what of the other fields within the Humanities? Dreams are not usually associated with significant accomplishments in these. As Friedrich Nietzsche writes in Daybreak (119): "Waking life does not have this freedom of interpretation possessed by the life of dreams, it

is less inventive and unbridled — but do I have to add ... that

when we compare very different stages of culture we even find that freedom of waking interpretation in the one is in no way inferior to the freedom exercised in the other while

Douglas Wilkerson

dreaming?" Though our "waking life" may not usually enjoy great freedom of interpretation, comparisons of culture, and similar endeavors in the Humanities, are no less constrained by "waking" reality than are our wildest dreams. Although we are usually constrained by "reality" in most areas of our lives, Comparative Culture, and similar academic research in the Humanities, sometimes appears to be as fanciful as our wildest dreams. We can only lament that the results, far from the profound vision of Coleridge, are more like the dream of the eponymous hero of Christina Alberta's Father by H.G. Wells, whose oneiric inspiration led him, not to Xanadu, but to the Observation Ward of the Gifford Street Infirmary: "The calling was to have been like the lighting of a lamp in their minds and the world about them. He had expected not only his own clear and unquestioning conviction but accession and reinforcement for it. And so leaping from soul to soul the restoration of Humanity, ..."

(ウィルカーソン ダグラス)

Career areas: Ano Yume, Kono Yume

Allan Goodwin

Ano Yume: Arts and communications. I started university majoring in Fine Arts Studies (it compares all of the arts) with a goal of double majoring in creative writing, and after graduation, doing an MFA in creative writing. After two years, I changed to a double major in music history, and English with a goal of "a job using both areas". In high school, music journalism was suggested to me by both my grade 13 stage band teacher (after I wrote a music review), and my grade 13 creative writing teacher, who suggested it as a "day job" (while I continued writing). I did two-terms of journalism in my first year of university (and two-terms of creative writing in my second). But there were problems: I was shy, and writing negative things about performances or the music itself was a requirement.

There's a line that runs from creative writing to creative nonfiction to journalism to public relations writing to advertising writing. It led me to writing advertising and a program in copywriting. For people who actually write advertising, it's writing a story to someone in your head. My goal in advertising was to work in the two areas that were most important to me: the arts and education. Working in the media (a classical music radio station) and client side (an opera company)

allowed me to do that.

Kono Yume: Communications and education. By switching from advertising to language teaching, I felt I was going from doing communications for companies to teaching communications to people. But the program I did to become an ESL teacher in Ontario focused on the idea that language comes from the mind. It convinced me that communications and language teaching were entirely different. Eight years later, I did a master's degree in language teaching. It focused on the idea that language comes from its use in society. This program was a link between the psycholinguistics of the Ontario language teacher training and the professional writing of advertising. Parts of the master's degree were relevant to each of the other programs.

There's breadth. And then there's depth. Going from Fine Arts Studies to Music and English gave me more depth, while doing different programs in the use of language gave me breadth in my chosen career area.

(グッドウィン アラン)

Pantin

Students' Dreams

Etienne Marceau

My dream as a teacher is to inspire students to be curious and take pleasure in learning. It might sound cliché or unoriginal, but I truly believe that teaching is much more than helping students to pass a course. There is no need to make them stand on their desk, rip apart their textbooks, "Oh captain my captain!", but rather encourage them to think for themselves, develop interests, and have a positive impact on people around them.

Year after year I am saddened by the absence of dreams or goals in the life of some students. Not knowing what they want to do for a living at 18 years old is not the end of the world. However, not having any goals or dreams makes them passive, waiting to be told what to do: how to pass a course, graduate, get a job, etc. Waiting throughout life is a waste. Education, on top of being inspiring, should help students to acquire agency in order to take informed decisions independently and act.

My dream is that teachers and students will make connections between what they learn in school and their life beyond the classroom. That students will be curious and interested in learning new things. That students will experience the pleasure of learning. That students will have dreams. Not the

ones dictated by the society but their own.

I often think of those ideals when I am teaching. We teachers have the responsibility to educate students beyond the content of the test. The industrial revolution shaped education towards factory work, but this era is over. The skills that helped Japan to become a great economy will not suffice through the automation of the 21st century; the successful people of tomorrow will be the ones who can think critically, solve problems, and adapt to change.

With a dream or a goal in mind, we work positively towards it. It doesn't matter if we reach it or not; the journey is what makes life meaningful.

(マルソ エティエン)

hateau

176